

日 時：令和4年5月30日(月) 10時00分～12時15分

理事数：19名(理事定数10名以上20名以内、定款第11条)

出席理事：19名 坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、坂口みどり、市野直浩、小野川 傑、齋藤良一、吉田祥子、井口文子、中前雅美、野島順三、古閑公治、松林こずえ、山口 聡、高崎昭彦、目黒玲子、關谷暁子、大瀧博文、高田智世

出席監事：2名 齋藤邦明、上原昭浩

Web会議システムでの開催であるため、出席者の音声または意思表示が即時に出席者へ伝わり、出席者が一堂に会すと同等に適時的確な意見表明が互いに行える状態となっていることを確認し、10時より理事会を開始した。

報告事項

- 1) 第16回日本臨床検査学教育学会学術大会は埼玉医科大学が担当校として、同大会副実行委員長を務める小野川常務理事より以下報告があった。

会 期：2022年8月18日(木)～8月19日(金)

会 場：埼玉医科大学 日高キャンパス創立30周年記念講堂・保健医療学部棟

大会長 茅野 秀一(埼玉医科大学 保健医療学部 教授)

副大会長 戸田 好信(天理医療大学 医療学部 教授)

実行委員長 佐藤 正夫(埼玉医科大学 保健医療学部 教授)

副実行委員長 小野川 傑(埼玉医科大学 保健医療学部 教授)

事務局 山岸 敏之(埼玉医科大学 保健医療学部 教授)

共 催 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

後 援 文部科学省・厚生労働省・一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会・
公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

演題募集登録期間 2022年4月15日(金)～5月31日(火)

学会テーマ つなげよう、ひろげよう、臨床検査学教育

1日目 学術大会開会前に日臨教学術評議員会を開催 (理事会は別日開催)

1日目 情報交換会(懇親会)は実施しない

教員・学生合同研究会は実施しない

学生表彰：優秀発表賞をセッションごとに1演題選考する。

適切な感染対策のもと対面開催とする。COVID-19感染状況によってはWeb開催とする。

事務局：埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科 JAMTE16@saitama-med.ac.jp

- 2) 新規加盟校について以下の3校から申請があり、坂本理事長より申請書類も整っていることから加入報告がなされた。

〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島9-4-10

学校法人明星学園 国際医療専門学校臨床検査学科(定員80名)

議決権者：副校長 石橋佳朋先生

*東武医学技術専門学校が浦和学院専門学校と統合し校名変更

〒279-0013 千葉県浦安市日の出 6-8-1
順天堂大学医療科学部 臨床検査学科（定員 110 名）
議決権者：学科長 三宅一徳先生

科目承認校
〒577-8502 大阪府東大阪市 小若江 3-4-1
近畿大学薬学部創薬科学科
議決権者：学科長 仲西功先生

3) 臨地実習指導者講習会報告について、坂本理事長より以下の報告があった。

A. 令和3年度 日臨技支部実施開催の実績

2月13日（日）関東甲信支部、2月20日（日）北日本支部、2月27日（日）近畿支部、2月27日（日）九州支部、3月16日（日）中部支部、3月13日（日）中四国支部、3月20日（日）首都圏支部

臨地実習指導者講習会修了者数：498名（令和4年4月27日時点）

講習会修了及び未修了施設の一覧：会員校へ令和4年4月27日に送付済み。

B. 令和4年度 日臨技支部実施が確定している日程

5月8日（日）関東甲信支部、6月5日（日）九州支部、6月12日（日）中四国支部、9月4日（日）中部支部

C. 今後の予定

- ① 公立施設およびグループ施設では年度末に他施設へ移動される方がおられ、臨地実習指導者が不在にならぬよう、1施設1名の受講制限を令和4年度内に解除できるよう、各支部で2回の実施を目指し日程が決まり次第に開催日を案内予定。
- ② 各支部で世話人は10名必要であり、半数の5名を本会から担当が理想。
- ③ 各支部で調整者は1名を本会から担当。業務はZoom操作が主になり、Zoom使用経験ある方だとスムーズ。
- ④ 今後も臨地実習指導者講習会は継続され、各校公平に運営協力をお願いしたい。
- ⑤ 見学は各支部単位で募る。
- ⑥ 令和4年4月27日に送付以降より申込者（未修了者）の数が増えてない。各校が依頼予定の臨地実習施設で、令和4年4月27日のファイルに記載が無い施設へ、自校のために受講の声掛けをお願いしたい。

4) タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣が指定する研修について、坂本理事長より以下の報告があった。

令和3年以前に入学した学生・卒業生が臨床検査技師国家試験を受験する際、令和6年度（令和7年2月実施）の出願に際して、「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣が指定する研修」が国家試験受験申請に必須である。

厚生労働大臣が指定する研修については、告示第274号に一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（日臨技）が実施する研修と定められた。

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=80ab8285&dataType=0&pageNo=1

同研修は、日臨技が「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会(以後：指定講習会)」として実施しており、学生・卒業生を対象にした指定講習会の実施にむけ、本会として日臨技に確認しながら準備を進める。

指定講習会の運用について

- A) 指定講習会は「基礎研修」と「実技研修」に大きく分かれる。
B) 基礎研修：講義を日臨技の教育システムで8講義を合計で約11時間のオンデマンド受講と、各講義での確認試験に合格が必須

懸念事項

- イ) 学生もオンデマンド受講で可能か。
ロ) 学生は臨床検査技師免許を有していないため、日臨技のシステムに現状では入ることが出来ないため、日臨技側で教育システム改修をお願いすることになる。
C) 実技研修：「静脈路確保/造影剤注入等/成分採血等」、「皮下グルコース検査/吸引痰」、「肛門機能/内視鏡検体採取/誘発電位等」と、3種の実技を各2時間ずつ合計6時間実施する。

懸念事項

- イ) 実技講習の実施時期(令和3年入学者が4年生になる令和6年で良いか)
ロ) 実技講習は各校で実施するのか
ハ) 実技講習の開催は「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」を遵守。
ニ) 基礎講習の履修者、登録方法
ホ) 実技講習指導者の確保はどうするか。
ヘ) 単独校で開催困難な場合、他校と合同開催は可能か

- 5) インボイス制度へ対応することについて、坂本理事長より以下の報告があった。

令和5年10月より開始される消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)に関し、厚生労働省からの通知を令和3年10月7日、令和4年2月7日、令和4年3月28日に各校連絡担当者へ送付済み。同制度に対応出来るよう、適格請求書発行事業者として本年度より本会も消費税を納めることとする。

- 6) 各種委員会報告について、各委員会の担当理事よりそれぞれ報告があった。

A. 法務委員会 目黒理事

代表理事(理事長)交替に伴い2年に1度行われる「一般社団法人登記における役員変更手続き」について、法務委員会副委員長ならびに伊藤委員を中心に進められた。今後は、マニュアルを作成し、事務局を中心に行っていただく予定。

B. 調査研究委員会 吉田理事

① 令和3年度活動報告

「臨地実習前の技能修得到達度評価 実施状況調査」を実施した。本調査結果については3月7日付メール配信にて全会員校に報告済みである〔協議会HP(会員校専用)にも掲載〕。

② 令和4年度スケジュール(案)

5月下旬 理事会・定期総会にて進路状況調査・入学状況調査、在学中の資格取得・支援

等状況調査実施の周知

6月中旬 調査依頼(メール配信)

7月下旬 調査回答締切

8月上旬 調査結果取りまとめ

12月中旬 理事会・臨時総会で報告

C. 国家試験対策委員会 井口理事

- ① 模擬試験進捗状況：問題作成者・編集者が決定し、現在問題作成中
 - ② 6月下旬に模擬試験受注案内
今年度より受注受付を10部以上とする。但し新設の大学に於いてはその範囲ではない。
既卒生も学校単位での受注受付とする。（個人単位の受注受付はしない。）
 - ③ 今年度より消費税を徴収：代金は1セット(A,B) 本体1,800円＋税180円 合計1,980円
 - ④ 委員校正料の支給は学校単位から個人単位とする。
 - ⑤ 新規委員：北海道医療大学 医療技術学部臨床検査学科 吉田繁委員（一般検査学）
-

C. 国際協力委員会 高崎理事

- ① 令和3年度活動報告
「臨床検査学教育」編集委員会へ国際交流紹介執筆者2名を推薦。
 - ② 令和4年度活動予定
「臨床検査学教育」編集委員会へ国際交流紹介執筆者の推薦。国際交流に関する取り組みを協議会に提案していく など
-

E. 地区部会委員会 松林理事

- ① 令和3年度活動報告
近畿中国四国部会
総会（ZOOM会議）令和3年6月15日
臨時総会（メール審議）令和4年3月14日～22日（議決3月24日）
 - ② 令和4年度活動計画
イ）北海道・東北部会
総会 令和4年9月（オンライン開催予定）担当校：弘前大学
ロ）近畿中国四国部会
総会 令和4年6月26日（日）13：00～15：00
会 場： オンライン（ZOOM）によるWEB
担 当： 神戸大学医学部保健学科 大崎博之
-

F. 編集委員会 齋藤理事

- ① 「臨床検査学教育」14巻1号（2022年3月1日発行：学会特集）
総説1件、原著1件、報告1件、学術集会における特別講演等の資料13件、関連学会報告1件、教育機関紹介1件、国際交流1件、書評1件、編集後記
 - ② 「臨床検査学教育」14巻2号（2022年9月1日発行予定）
総説2件、原著1件、関連学会報告、教育機関紹介、国際交流、書評、編集後記を予定
-

G. 研修委員会 山口理事

- ① 令和4年度定時総会 教員研修内容および講師について
講演名：新たな臨地実習に向けて現状と問題点
講 師：池田勇一先生（東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部 技師長）
- ② 令和4年度臨時総会 教員研修内容のテーマについて
テーマ： タスクシフト・シェアに関連した内容で検討中。
イ）追加された項目の再確認、教育・実習内容（使用教具）など情報共有的要素。
ロ）必ず見学する行為に加わった項目と、臨地実習との関連付け。
ハ）今後の就職環境・職域拡大などの展望など。
※ 新教育課程に追加業務の要素を加えているものの、実技講習が進まない地域もあり、手探り感が否めない中、実際に指導する上で教育内容や手法に不安を抱かれています。先生方もいるのではとの観点から、イ）を念頭に準備を進めたいが、令和4年度に

タスクシフトに関連した科目を開講されている学校が実際にあるかが、懸念材料としてあげられる。また、次年度以降に計画される学校から、進捗状況や検討段階の内容・プロセスをご紹介いただき情報の共有を図ることも念頭におき進める予定。

講師：未定（7～8月を目安に講師の選定を行う）

- ③ 令和5年度定時総会 教員研修内容のテーマについては次回委員会で検討予定
-

H. 学会運営委員会 古閑理事

- ① 日本臨床検査学教育学会学術大会

イ) 第17回大会 大会長：戸田好信（天理医療大学医療学部臨床検査学科）

期日：令和5年8月23日（水）～24日（木）

大会場：天理大学柚之内キャンパス2号棟、ふるさと会館

〒632-8510 奈良県天理市柚之内町 1050

テーマ：臨床検査学教育・今昔物語～求められる次世代型臨床検査学教育

ロ) 第18回大会 大会長：池主 雅臣（新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻）

期日：令和6年8月23日（金）～24日（土）（予定）

ハ) 第19回大会 大会長：未定（岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻）

期日：令和7年8月（予定）

- ② 学術評議委員会会則（旧 評議員会会則の変更）の改定案について
-

I. 学術委員会 高崎理事

- ① 令和3年度活動報告

第1回委員会 10月23日

学術委員会名簿、分科会会長・副会長名簿の作成、承認。技能到達度評価の実施方法、項目、評価法の素案作製

第2回委員会 11月29日

「臨地実習前技能修得到達度評価について」評価項目、科目履修方法、評価基準の決定

- ② 令和3年度分科会

会長・副会長の決定

令和3年度分科会会則について

- ③ 臨地実習前技能修得到達度評価について

イ) 令和3年度定時総会で報告された「臨地実習前技能修得到達度評価について」の訂正版を加盟校に送付し、内容に関しての意見を聴取した。

ロ) 第2回学術委員会にて評価項目、科目履修方法、評価基準を決定した。

ハ) 実施要項を事務局より令和3年3月9日に加盟校に配付

- ④ 令和4年度活動予定

イ) 2回の学術委員会を予定（適宜）

ロ) 令和4年度学術委員会委員名簿作成

ハ) 令和4年度分科会会長・副会長名簿作成

臨地実習前技能修得到達度評価」（試行）に関する項目・評価法などの意見収集

7) 臨地実習前技能修得到達度評価（試行）実施要項について、高崎理事より令和4年3月9日に加盟校に配付済み内容の説明があった。

8) 医歯薬出版国試対策問題集について、坂本理事長より以下の報告があった。

書名：臨床検査技師国家試験問題集 2023年版

第65-68回国試問題・マークシート PDF付

編集：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会

体裁：B5判，総頁数800頁

分冊：本体632頁（1色刷），カラー図版・解説集168頁（カラー+1色刷）]

対象：臨床検査技師国家試験受験者

定 価：7,700 円（本体価格 7,000 円＋税 10%）
発行日：2022 年 5 月 25 日（出来予定：2022 年 5 月 20 日）
発 行：医歯薬出版株式会社刷り部数：2,500 部

著作権使用料：本体価格×実売部数×10%
（5%を日本臨床検査学協議会、5%を14名の執筆者で頁按分）

9) その他

大学・大学院部会担当の野島理事より、令和4年4月-5月に行った大学院進学率及び卒業後の進路に関するアンケート調査結果の報告があった。

審議事項

第一号議案 令和3年度事業経過報告

令和3年度事業経過報告について坂本理事長より、以下の説明があり、審議の結果、承認された。

概要：文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査関連団体との連絡・協議を行った。また、改正された臨床検査技師学校養成所指定規則に則り、日本臨床衛生検査技師会と合同で臨地実習指導者育成にむけた臨地実習指導者育成協議会の立ち上げ、ならびに実習指導者講習会の運用を開始した。さらに、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験問題検討委員会などの活動を通じて、臨床検査学の啓発と教育問題に関する調査研究を行った。

令和3（2021）年5月24日

第16回定時総会：Zoom会議、令和3年度第1回理事会：Webex会議

6月5日-10日

第2回理事会：メール審議

8月18日

第3回理事会：Zoom会議、日本臨床検査学教育学会評議員会：Zoom会議

12月13日

第4回理事会：Zoom会議、臨時総会・教育講演会：Zoom会議

令和4（2022）年1月19日

第1回臨地実習指導者育成協議会：Zoom会議（当会出席者：坂本理事長、市野副理事長、坂口副理事長、小野川常務理事）

（その他）

- ・会員校の加入開拓：熊本大学、美萩野臨床医学専門学校の再入会、近畿大学薬学部、順天堂大学、国際医療専門学校の新規加入申し込みを受け付けた。
- ・新役員登記：代表理事変更に伴う全役員および監査の登記作業を行った。
- ・学術会員制度の変更：個別ID発行を停止し、今後は教員名簿に登録された教員を学術会員とみなす。
- ・ホームページリニューアル：個別ID廃止に伴い、会員ページを閉鎖し、会員校専用ページを開設した。
- ・一部サービスの廃止：利用頻度の極端に少ないブラストメールサービスを解約した。

第二号議案 令和3年度収支決算

令和3年度収支決算について小野川常務理事より、以下の説明があり、審議の結果承認された。

令和3年度 収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

(単位 円)

勘定科目	R3年度予算額	R3年度決算額	差引	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	6,580,000	6,680,000	100,000	会員校94校(5校増)、賛助会員1社
個人会費収入	0	0	0	会費無料化
特別会費収入	2,500,000	2,595,900	95,900	第15回教育学会参加費
雑収入	1,800,000	1,574,442	-225,558	機関誌広告料収入、印税、看護協会Wifi手数料
模擬試験関連収入	7,700,000	7,722,000	22,000	国家試験模擬試験受講料(¥200値上げ)
寄付金収入	1,000,000	715,000	-285,000	学術大会寄付、広告掲載料
事業活動収支計	19,580,000	19,287,342	-292,658	
2. 事業活動支出				
事業費支出	11,000,000	9,123,294	-1,876,706	
教育講演料	100,000	11,137	-88,863	臨時総会時講演会
教育普及活動	5,800,000	4,657,800	-1,142,200	模擬試験問題作成費、印刷、配送料、臨地実習指導者講習会追加(教材費・講習謝金)¥1,000,000
学術大会開催	4,000,000	2,985,857	-1,014,143	第15回学術大会Web開催
学会誌出版	1,100,000	1,468,500	368,500	学会誌電子化編集費(13巻2号、14巻1号)
管理費支出	5,250,000	4,850,590	-399,410	
広告宣伝費	630,000	588,610	-41,390	メール配信システム更新費・利用料年開契約 ¥102,960、Webサイト管理(月額)¥44,000×12 = ¥528,000
印刷費	50,000	4,800	-45,200	役員名刺印刷
租税公課	100,000	73,400	-26,600	法人登記変更費用
接待交際費	50,000	11,000	-39,000	奥村先生退任花束贈呈
通信費	400,000	284,492	-115,508	事務局用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配便送料、理事長選挙関係
会場費	50,000	0	-50,000	Zoomでの開催
消耗品費	200,000	35,401	-164,599	文具類、コピー用紙、インク
行事費	200,000	180,000	-20,000	委員会日当
旅費交通費	100,000	67,190	-32,810	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	200,000	165,000	-35,000	Zoom会議契約料
頭彰費	100,000	93,282	-6,718	名誉会員賞、永年精励賞
寄付金	0	0	0	
事務局運営管理費	2,500,000	2,750,998	250,998	事務局人件費(アルバイト2名×12か月)、事務局賃料等、レンタル倉庫代、印刷代
雑費	600,000	526,417	-73,583	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング使用料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	16,250,000	13,973,884	-2,276,116	
事業活動収支差額	3,330,000	5,313,458	1,983,458	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
出資金収入	0		0	
受取利息	178	186	8	
財務活動収入計	178	186	8	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0		0	
財務活動収支差額	178	186	8	
III. 予備費支出				
当期収支差額	3,330,178	5,313,644	1,983,466	
前期繰越金	18,416,421	18,416,421	0	
次期繰越金	21,746,599	23,730,065	1,983,466	

第三号議案 令和3年度監査報告

令和3年度監査報告について齋藤監事より、以下の説明があり、審議の結果承認された。

監査報告

一般社団法人

日本臨床検査学教育協議会

理事長 坂本 秀生 殿

定款第3章第13条5および会計規程第6章36条の規定に基づき、
令和3年度の会計帳簿および事業報告の内容を監査した結果、会計
は正確に処理されており、また会務は適正に運営されていることを認
めます。

令和4年5月12日

監事

上原昭浩



監事

齋藤邦明



第四号議案

令和4年度事業計画について坂本理事長より、以下の説明があり、審議の結果承認された。

概要 文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査関連団体との連絡・協議をする。会員校との意見交換や相談などに対応する。また、昨年度より運用が開始された日本臨床衛生検査技師会との合同事業である臨地実習指導者講習会の継続と、臨地実習指導者育成協議会に参画することでよりよい臨地実習の環境づくりを目指していく。さらに、臨床検査学の啓発とさらなる教育力向上を目指して、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験対策委員会などの活動を通じて調査研究を行う。

令和4(2022)年4月19日

第2回臨地実習指導者育成協議会：Zoom会議（当会出席者：坂本理事長、市野副理事長、坂口副理事長、小野川常務理事）

5月30日

令和4年度第1回理事会：Zoom会議、第17回定時総会、教育講演会：Zoom会議
R5-6年度役員選考委員会立ち上げ（理事会審議、総会承認後発足）

8月8日

第2回理事会：Zoom会議

8月18日-19日

日本臨床検査学教育学会評議員会：埼玉医科大学（8/18）
第16回日本臨床検査学教育学会：埼玉医科大学

12月12日

第3回理事会：Zoom会議、臨時総会：Zoom会議

（期日未定）

R5-6年度代表理事選挙

（通年事業）

- ・機関誌「臨床検査学教育」発刊（編集委員会）
- ・加盟校学生向け国家試験模擬試験問題の作成（国家試験対策委員会）
- ・国家試験模擬試験問題の販売金額に消費税を加算する（本体1,800円＋税180円）。
- ・臨地実習指導者講習会の日本臨床衛生検査技師会との合同運営（臨地実習指導者講習会受講終了施設の情報管理などの新規事業を含む）

（その他）

- ・「教員名簿」については「学術会員登録名簿」として管理し、各校への配布は行わないこととする。
- ・厚労省「臨床検査技師国家試験の学校別合格者状況」プレスリリースの入手

第五号議案

令和4年度予算計画について小野川常務理事より、以下の説明があり、審議の結果承認された。

令和4年度 予算計算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(単位 円)

勘定科目	R3年度決算額	R4年度予算額	差引	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	6,680,000	6,890,000	210,000	会員校97校、賛助会員1社
雑収入	1,574,442	1,500,000	-74,442	機関誌広告料収入、印税、看護協会WJH手数料
学術学会関連収入	3,310,900	2,500,000	-810,900	参加費、寄付金、広告掲載料等
模擬試験関連収入	7,722,000	8,500,000	778,000	国家試験模擬試験受講料 (¥1,800+税¥180=¥1,980)
事業活動収支計	19,287,342	19,390,000	102,658	
2. 事業活動支出				
事業費支出	9,123,294	13,818,718	4,695,424	
教育講演料	11,137	100,000	88,863	学術大会、定時総会、地区部会セミナー講師謝礼及び交通費、総会時講演会等
教育普及活動	4,657,800	4,800,000	142,200	模擬試験問題作成費、印刷、配送料
臨地実習指導者講習	0	3,018,718	3,018,718	臨地実習指導者講習会追加(教材費・講習謝金)¥1,000,000(昨年度分繰越)
学術大会開催	2,985,857	4,400,000	1,414,143	第16回学術大会開催
学会誌出版	1,468,500	1,500,000	31,500	学会誌電子化編集費(4巻2号、15巻1号)
管理費支出	4,850,590	5,065,000	214,410	
広告宣伝費	588,610	660,000	71,390	会員専用コンテンツ削除・会員校専用コンテンツ制作¥132,000、Webサイト管理(月額)¥44,000×12=¥528,000
印刷費	4,800	0	-4,800	協議会名入り封筒印刷、役員名刺印刷等
租税公課	73,400	70,000	-3,400	法人登記変更費用
接待交際費	11,000	50,000	39,000	慶弔費、手土産など
通信費	284,492	300,000	15,508	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配便送料
会場費	0	50,000	50,000	R3年度国試問題検討委員会施設使用料
消耗品費	35,401	100,000	64,599	文具類、コピー用インク、事務用器材等
行事費	180,000	230,000	50,000	委員会日当、オンライン選挙経費
旅費交通費	67,190	100,000	32,810	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	165,000	165,000	0	Zoom会議契約料
顕彰費	93,282	120,000	26,718	名誉会員等 実施の可能性あり
寄付金	0	0	0	
事務局運営管理費	2,750,998	2,600,000	-150,998	事務局人件費(アルバイト2名×12か月+交通費)、事務局賃料等、レンタル倉庫代、印刷代、会議室使用料
雑費	526,417	550,000	23,583	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング使用料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	13,973,884	18,883,718	4,909,834	
事業活動収支差額	5,313,458	506,282	-4,807,176	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
出資金収入			0	
受取利息	186	178	-8	
財務活動収入計	186	178	-8	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計			0	
財務活動収支差額	186	178	-8	
III. 予備費支出				
当期収支差額	5,313,644	506,460	-4,807,184	
前期繰越金	18,416,421	23,730,065	5,313,644	
次期繰越金	23,730,065	24,236,525	506,460	

第六号議案 令和 5-6 (2023-2024) 年度役員選考委員会について

現在の役員の任期満了(令和 5 年 3 月末日)に伴い、小野川常務理事より、次期役員選考のため組織運営規定第 7 条に基づき、役員選考委員会の立ち上げについて、以下の説明があり、審議の結果承認された。

選考対象および役員選考委員会の業務：

- ・代表理事(理事長)：役員選考規定第 2 条ならびに第 3 条に基づき、立候補者の受付、および議決権者による選挙を実施するため準備する。
- ・理事：役員選考規定第 7 条に基づき、次期候補者について検討、推薦する。
- ・監事：役員選考規定第 8 条に基づき、任期満了となる 1 名の次期候補者について検討、推薦する。
- ・その他、役員選考規定第 5 条に掲げる選挙に関する業務全般につき、実行する。

役員選考委員会委員候補者：

役員選考委員会内規に基づき、以下の 5 名を委員候補者とする。

- ・勝田 仁(九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術分野・副分野長、教授)
- ・松下 誠(埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科・教授、元本会常務理事)
- ・福島 亜紀子(女子栄養大学栄養学部保健栄養学科・学科長、教授)
- ・安田 富子(国際医療専門学校臨床検査学科・学科長)
- ・小野川 傑(本会事務局長、埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科・教授)

役員選考委員会事務局：

事務局は埼玉医科大学保健医療学部内(埼玉県日高市山根 1397-1)に設置する。

役員選考委員会の解散

令和 5 (2023) 年度総会での新役員承認後、就任をもって解散とする。

第七号議案 利益相反(COI)について

日本臨床検査学教育学会 利益相反(COI)に関する指針について、学会運営委員会 担当の古閑理事より、「日本臨床検査学教育学会 利益相反(COI)に関する指針」、「口頭およびポスター発表における COI 状態の開示」、「臨床検査学教育投稿論文における COI 状態の開示」、「本学会役員、学術大会長に関わる COI 自己申告書」、「学会演題登録時の利益相反、倫理審査等について」を定める提案と説明があった。

審議の結果、重要なことであり、定時総会での審議事項として会員からの意見収集を行うことを含め、継続審議することとなった。

第八号議案 日本臨床化学会「学生シンポジウム」共催について

本会の臨床化学分科会 石井直仁会長より、第 62 回日本臨床化学会年次学術集会「学生シンポジウム」共催依頼を受け、審議の結果、共催することとした。

第九号議案 臨地実習受け入れ施設の施設利用料について

臨地実習受け入れ施設による金額の相違が大きい現状がある。目安となる金額を提示できるよう、本会で施設利用料について調査が必要か審議を行った。その結果、いきなり調査を行うのではなく、目安を示すことの意義、他医療職の状況などを確認することも大事であり、継続審議することとした。

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoom でも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、12 時 15 分に終了した

令和 4 年 5 月 31 日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印